

景気景況調査報告

(第8回)

平成29年10～12月期 実績
平成30年 1～3月期 見通し

平成30年2月

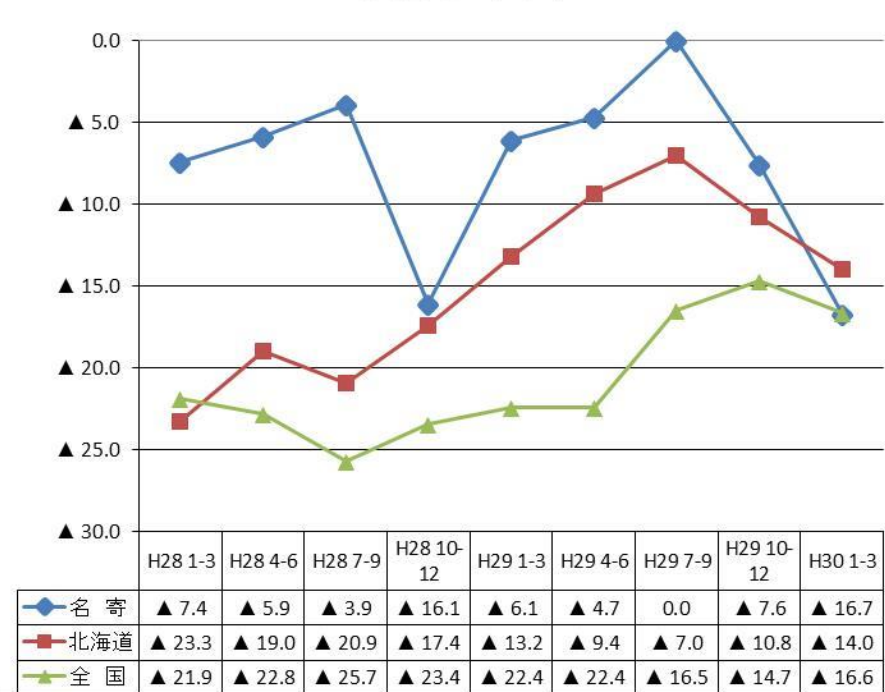
名寄商工会議所

I 調査要領

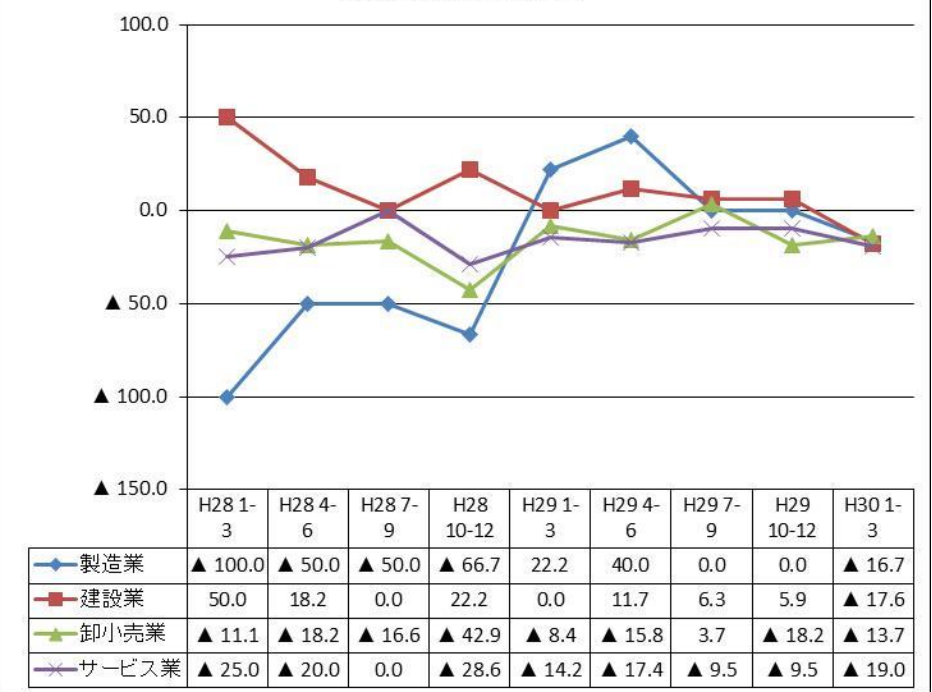
- ①調査対象期間 平成29年10～12月期の実績及び平成30年1～3月期の見通し
- ②調査内容 製造業、建設業、卸小売業、サービス業の4業種に分類し、売上高、採算、仕入、従業員、業況、資金繰りの6項目について調査を実施。
- ③調査対象 当所会員企業（FAXで協力願い）67社

II 調査結果

全業種平均業況DI



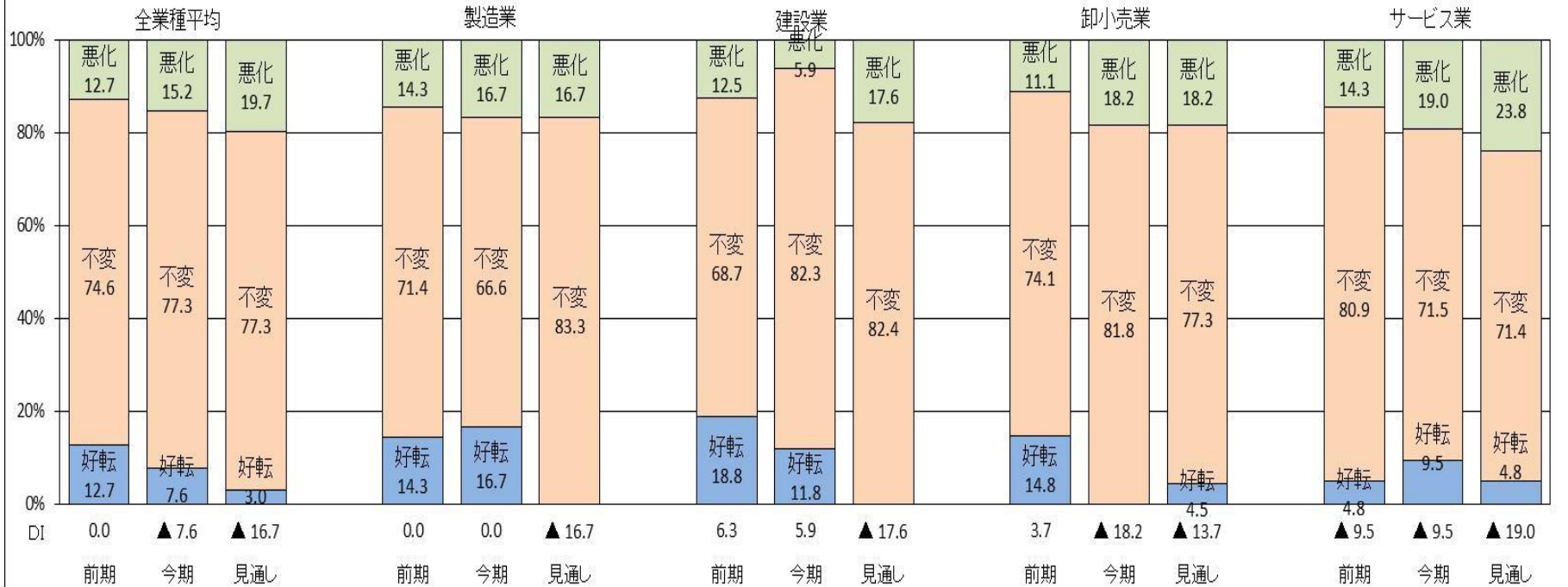
業種別業況DI



※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- ・ 今期、全業種平均で▲7.6ポイントと前回の調査に比べ7.6ポイント減少、卸小売業で21.9ポイント悪化したことが要因。見通しでは平均▲16.7ポイントと大幅な悪化が見込まれる。
- ・ 北海道（道商連調査）の景気と比較すると、共に悪化傾向にあり、見通しでも北海道▲3.2ポイント、名寄市▲9.1ポイント今期よりも悪化するとみられている。
- ・ 全国（日商調査）の景気と比較すると、今期は7.1ポイント上回っているが、見通しでは0.1ポイントとほぼ同じ状況となった。
- ・ 見通しでは、名寄市、北海道、全国の見通しとも、当期より悪化傾向にある。

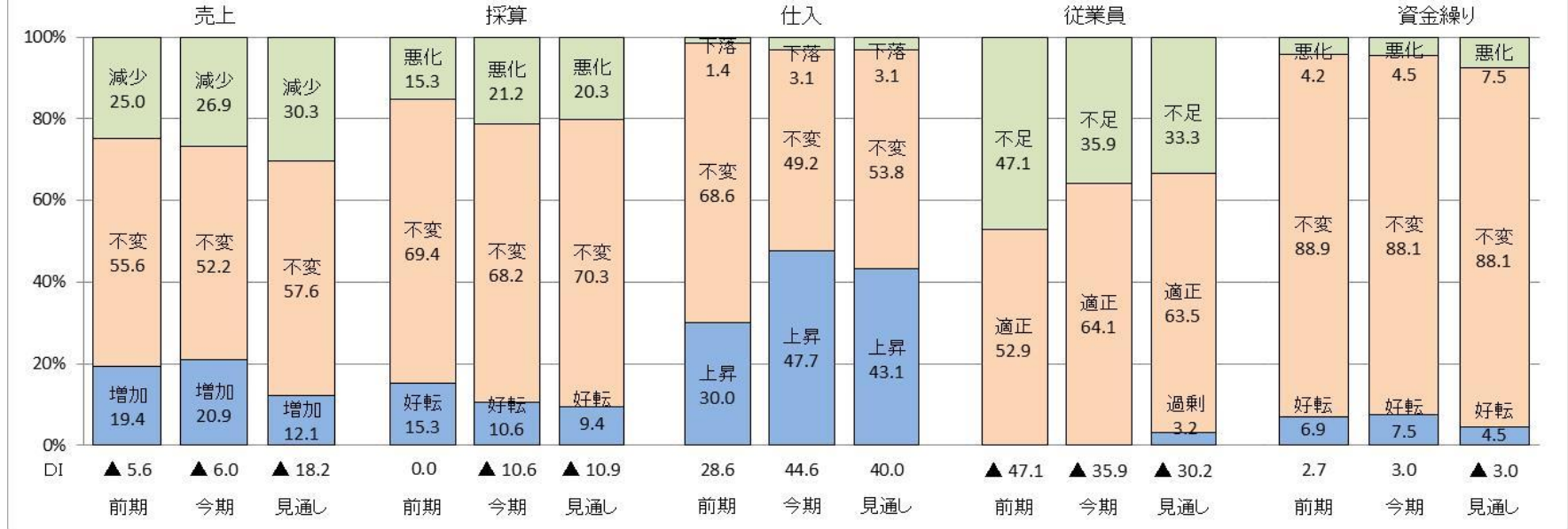
業種別業況回答割合



※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- ・製造業～今期「好転」と「悪化」がそれぞれ増加、見通しでは「好転」がなくなる状況となっている。
大型工事受注の為上昇したとある一方、全体的には悪化したと回答。
- ・建設業～今期は前期と比べ「不変」となっているものの、見通しでは「不変」は変わらず「好転」から「悪化」と回答。資材高騰や高齢化の影響で業況悪化が見込まれる。
- ・卸小売業～今期「悪化」18.2%と前期より7.1%増加し「好転」回答がなくなっている。要因は人口減と高齢化によるものと回答がある。
見通しでは「好転」が4.5%と今期より若干増加見込みである。市内全体の人口減少が不安視されている。
- ・サービス業～今期「悪化」19.0%と前期より4.7%増加したものの、「好転」も4.7%増加している。見通しでは「悪化」が23.8%、「好転」4.8%と悪化傾向にある。顧客の減少による影響があると思われる。

全業種平均項目別回答割合



売上 DI

見通しは▲18.2ポイントと今期より12.2ポイント悪化見込。
 ・人口減少や人手不足が売り上げに直結している。また、競合による減少と回答

採算 DI

[好転の要因]
 [悪化の要因]

今期▲10.6ポイントと前期より10.6ポイント悪化。見込みでは▲10.9ポイントと今期より0.3ポイント増加。
 ・製品需要増 ・人件費削減のため ・降雪量が多かったため
 ・人手不足 ・少子化の影響 ・仕入単価の上昇

仕入 DI

今期44.6ポイントと前期より16.0ポイント増加。見込みでは43.1ポイントと今期より4.6ポイント減少も依然上昇見込み。
 [上昇の要因] ・原油価格の上昇 ・人件費上昇による値上 ・資材や原材料の高騰

従業員 DI

[不足の要因]

今期で▲35.9ポイントと前期よりも11.2ポイント減少。見込みでも▲30.2ポイントと若干従業員不足が解消されているが以前として退職後の補充ができないことや、四角が必要などで人員不足が続いており、特に建設業による不足の声が多い。
 ・仕事内容が多く人手不足 ・若者の求職不足 ・大型車両運転手不足 ・募集しても応募なし
 ・慢性的不足 ・資格が必要だがいない ・勤務時間が合わない ・適任者がいない

資金繰り DI

今期で3.0ポイントと前期から微増。見込みで「悪化」が3.0ポイント増加し「好転」が3.0ポイント減少となり若干資金繰りに問題が出てきていると見込まれる。